

平成 30 年 10 月 25 日 00401号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】第 57 回読売新聞優勝旗争奪全道弓道大会が開催されました！

9 月 22～23 日北見市武道館弓道場において第 57 回読売新聞優勝旗争奪全道弓道大会が開催されました。道内各地から、中学生から一般まで約 290 名の選手が参加しました。競技では、団体戦や個人戦で 28m 先にある霞的へ 12 射行射し、その的中数を競いました。(今野)

武道振興協会事務所の花シリーズ

「一寸金花」が咲きました。屋久島の標高 1200 メートル付近を超えると岩の割れ目に生育する秋のキリンソウを極端に小さくした姿で約 3 センチしかなく黄色の可愛い花が咲きます。(渋谷)



連載「武道宝鑑」第 20 弾 柔道秘訣 柔道教士七段 橋本正次郎「柔道修行者の心得」

柔道修行の目的は決して一朝一夕に達成せられるものではない。其上修行が非常に困難であるから余程意志が固くないと長続きがせぬ。一生為になるものは何事を修行しても必ず困難が伴うものである。修行者は鉄の如き意志を以て克己精進し如何なる困難にも打ち勝って練習を継続しなくてはならぬ。絶えず練習を続けるうちには自然に技の理合いも会得することが出来又柔道の精進を味得することが出来るようになる。そうなれば一日でも柔道と離れることが出来難くなる。修行者は寶の山に入りながら手を空しくして帰るようなことがあってはならぬ。柔道の修行は修行すれば・・・**つづく**